

報告書名	平成 18(2006)年度 高温ガス炉プラントに関する研究報告書
発行年月	平成 19(2007)年 3 月
概要	高温ガス炉の実用化検討に資する目的で、以下を実施した。 (1) 技術課題の検討: ①わが国の高温ガス炉による水素生産の位置づけに関して、「高温ガス炉水素導入の条件、必要性、水素製造コスト」、②高温ガス炉燃料サイクルに関して、「要素技術、シナリオ等に関する情報更新」および「現時点において、わが国で考え得る燃料サイクルシナリオ」について、ワーキンググループを設置し、調査・検討した。 (2) 開発動向調査: ①国際会議での情報収集、参加者との情報交換、②公開情報に基づき、高温ガス炉に関する国内外の最新の開発動向調査を実施した。
目次	はじめに 関係者名簿 I. 今年度の活動実績の概要 II. 高温ガス炉の技術・経済性の検討 1. まえがき 2. 技術・経済性の検討 (1) 内外動向調査 (2) 水素生産位置付け検討 (3) 燃料サイクル検討 III. PA/PR 活動報告 IV. 出張報告 1. 「高温ガス炉技術国際会議(HTR-2006)」出張報告 2. 「IAEA 原子炉用黒鉛の照射クリープ挙動に関する検討会議」出張紹介 V. 今後の活動